

個人で
施工可能

雑草抑制砂の墓砂入替えキット

キット内容

お清め塩

手袋

小スコップ

砂袋

仏砂



施工後、1年経過

雑草抑制砂の作業方法

- ① 現状の墓地にお清め塩をまく
- ② お清め砂の後に墓の土(砂)を約3cm位取り除き砂袋に入れる
- ③ 土(砂)を取った所に雑草抑制砂を3cm～5cm平均に平にする
- ④ 仏砂をまき、完了

※砂袋に入れた土(砂)はお持ち帰りください

施工依頼の場合は無償で見積もり致します。
(施工費・運送費など)

生花店・墓石店等で現在販売中

取次店・代理店 募集中!

製造・販売元

有限会社南口工業

本 社

〒590-0968 堺市堺区南旅籠町西3丁6番3号
TEL (072) 238-3406
FAX (072) 222-7938

工 場

〒590-0903 堺市堺区松屋町2丁42番地
TEL・FAX (072) 238-0322
担 当 者 090-3269-3727 090-1684-8022

墓地・花壇・駐車場・空き地等に最適!

STOP 雑草抑制砂

商標登録・第5997756号 ㊞

安心安全

雑草を
防ぐ

長期間
抑制

MINAMIGUCHI

雑草の生育には、電気伝導度*が影響しています。

そこで弊社は、高い電気伝導度を利用して雑草を生やさない砂を開発しました。

有害物質を使用せず、安心で安全に。

長期間の効果持続で、快適な雑草対策を提供します。

※電気伝導度：物質の電気伝導のしやすさを表す物性値

雑草を
防ぐ

安心
安全

長期間
抑制



10kg入

+ 人体に無害の安全性

安全
検査

高温熱処理加工した砂A・砂Bに極小のNaを攪拌した砂で有害な除草剤などを使用していません。一般財団法人 関西環境管理技術センターにて安全に対する分析を行って承認されています。

🕒 効果が長期間持続

使用
方法

まず、使用する場所の雑草を抜いて、下処理をします。その後、雑草抑制砂を上層に3cm～5cm敷き詰めると、雑草の発芽抑制に効果があり、2～3年は効果が継続しますが、効果が弱くなった場合でも食塩(0.5%～1%)を砂と混ぜると効果が回復します。(土壌に電気伝導度が増し再度効果が出ます)

※ 墓石に食塩をつけないように注意して下さい。
※ 雑草抑制砂をご使用の際は、手袋等をご使用下さい。
※ 持続性についても(株)総合水研究所にて依頼中です。

使用量目安

平地の場合 1㎡当り 4袋～5袋



墓地的場合 1㎡当り 3袋～4袋



公的機関の
各証明確認を得た **信頼の製品**

大阪府立環境農林水産総合研究所の報告

弊社の用意した4種類の土壌(土木砂/生コン砂/Na混入の配合砂(雑草抑制砂)/鉋滓スラブ砂)を約1cc採取し、約10ccの純水に浸す。

しばらく、攪拌、静置した後に電気伝導度の測定を実施。

測定結果

対象砂	測定電気伝導度 (mmジョーメンス/cm)
土木砂	0.2450
生コン砂	0.0963
Na入り配合砂 (雑草抑制砂)	4.550
鉋滓スラブ砂	0.0093

通常の露地畑の土壌の
電気伝導度

0.2程度

電気伝導度が
2.3～3.3程度
が生産限界

電気伝導度が
4.0となると
作物が高肥料で枯れる

雑草抑制砂の電気伝導度は
4.55と異常に高く、
雑草が生えにくい。

結果、環境農林水産研究所での簡易結果が判明し、

雑草の生育に対し、高い電気伝導度が影響していることが判明。

⚡ 高い抑制効果

雑草抑制砂の効果

雑草の
発芽抑制

高い電気伝導度の影響により、雑草を抑制します。独立行政法人 大阪府立・環境農林水産総合研究所にて承認されています。

害虫の
発生抑制

砂である為、雨水などの吸収率が高く表面に水が溜まらないので、蚊などの害虫の発生が抑制されると使用者からの報告を受けています。

墓地での
雑草対策の比較

墓地の表面を3cm～5cm剥ぎ取り、その後雑草抑制砂を入れ表面を平らにします。約7日程で、雑草抑制砂が美しいベージュ色に変化し表面が綺麗に成ります。

雑草抑制砂を使用

平成28年2月27日 施工



平成29年5月27日



約1年3ヶ月経過後も
雑草が生えていない。

A社製品を使用

施工3ヶ月後より
徐々に雑草が生えてくる。



B社製品を使用

施工3ヶ月後より
徐々に雑草が生えてくる。

